

平成 25 年 5 月号

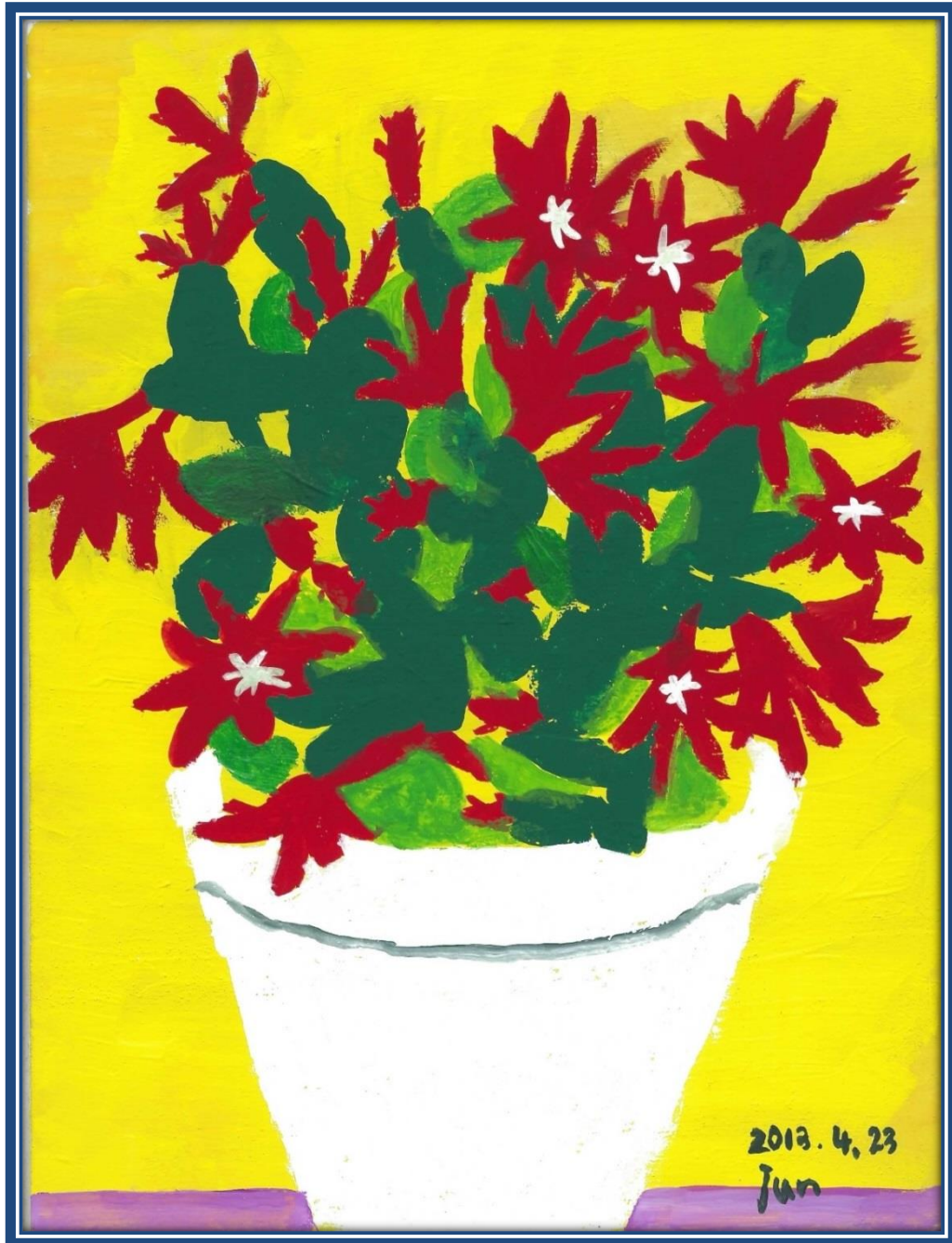
メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 25 年 5 月 1 日(第 97 号)



画:鈴木順子

風に桜の花ビラが舞う。まるでハラハラ涙が流れる様に（完結編）

小さいころにもどりみんなに子供の様に愛されたい。あらためて始まる私のふるさとさがし。

私は中学校を卒業するまで6回親の転勤で地方を回りました。その中でも小学校1年～3年まで過ごした松本が一番思い出に残っています。春には畑や野原に花がほころび、夏は川あそび、冬はスキー・スケート。多くの友人とやさしい先生に囲まれていました。そんなふるさとへの思いが急激にもり上がり私の生きてきた原点のもうひとつがここにあることに気付きました。いてもたってもいられず調子のよい日に友人の旅館に泊まりにゆき、なつかしい先生と会ってきました。ところが、本当に10年ぶりぐらいの旅行で薬を持って来るのを忘れていました。4種類の睡眠薬を飲まないと思えないのです。朝が来るまでまんじりともせず、朝食もとらず旅館をとび出し列車に。額から汗がたらたら東京の病院にかけこみ睡眠薬入り点滴と言ってベッドに横になりました。

61才ごろから週に1日外出できる様になりました。万年、下痢と嘔吐、怠さにさいなまれながらも、私はふるさとへの思いを今の松本の子供達へなんとか伝えたいと思い、松本城のことをマンガにして出版したいという思いがうかびました。何回か松本にかよひ、資料をとりよせ、お話を作りマンガ描きに没頭しました。まだ体調に波があり、1日やって1日休んでも、又、年3回ぐらいは「そう」の波にも苦しみながらでしたが、40ページぐらい書きましたが、マンガの書き順序をまちがえてしまったためにできず断念しました。多くの昔の友人や先生に期待されていたのに残念でした。

大きく遅れをとった運のわるいマラソンランナーの様に、心で泣きながら坂をかけのぼる。

62才ごろから週に2回ぐらい外出できる様になったので、保健所から紹介され「ひびき」に金曜日、昼食つくりにかよいました。又、33才ごろからできなくなっていた絵画の制作も家ではじめられるようになりました。少し大作を美術館に出品できる様にもなりました。

しかし、同じ大学を出た仲間や今いっしょにアトリエを作って描いてゆく仲間が、私の2～3倍のエネルギーいよもっとで、遅れる出発をした私をさらに追い抜いてゆくを見て、はかない思いは消えません。

いも虫のようにふとんにへばりついてきた時代、心のそこではまた抜け殻だけの20数年間という、こみあげてくる無念の気持ちは消えません。

よく宗教者が「苦しみに会わせてくれたことに神に感謝すべきだ」という言葉を聞きますが、私には理解不可能。苦しみなどないことにこしたことはないのです。傷ついて歩く歩く、どこまでも打ちよせる障害という波のふちを燃え尽きる光景を見るまでか…。

最後に私の好きな歌でしめくります。

花を贈ろう

荒木栄 作詞、曲

吹雪の夜を歩いてきた ぬかるみをとびこえてきた
日照りにたたかれてきた 嵐の夜を走ってきた
花を贈ろう 仲間たちの手から

糸日谷 敬一

完



糸日谷さんの最近の作品「女性の美」

糸日谷さんのエッセイに何人かの方からご感想を頂きましたのでご紹介します。

- いよいよ糸日谷さんの完結編が。。。サスペンス満々です。 Tさん
- 糸日谷さんの続編、苦しみの中のご自身の描写はこちらまで痛く感じました。しかしこのように書くという作業はきっと次につながるんですね。 Nさん
- 4月号が届くのを待っていました。福音館の編集長に出会えたのは運命かな？
糸日谷さんだから立ち直れたんですね。 Sさん

連載を終えた糸日谷さん「しめくりを明るくしようか、とも思ったんだけど…」とのことでした。

ボランティアの松山さんとのコラボレーションよろしく、絵画プログラムを盛り上げてくれています。冗談好きで、大きな声でよく笑っていらっしゃいます。

自己紹介：天川祥爾です。

初めまして。1月からけやきと仲間のスタッフとして活動しています、天川祥爾（あまがわしょうじ）と申します。本格的に働き始めたのは4月からのため、まだまだわからないことだらけですがメンバーさんと楽しくコミュニケーションをしながら、早速居心地の良さを感じています。

簡単に自己紹介させていただきますと、出身は群馬県桐生市、2008年4月に千葉大学に入学して今年2013年3月に卒業しました（つまり、大学に5年間通いました）。好きなことはサッカー・フットサル・カラオケですが、最近はあまり体を動かす機会がないので家で筋トレをしています。

また、けやきと仲間とは以前から関わりがあり、第三土曜市の学生スタッフとして、そしてけやきんちの店長として、今まで大変お世話になりました。これからはスタッフとして少しでも皆さんのお役にたてるように微力ですが頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします

緑の季節

作：吉川 博

手のひらを帆にして 私は風に運ばれていく
両手を大きく広げたら あなたの街まで運ばれていく
愛しい気持ちだけ 風も柔らかく温かい
早くたどり着きたい 緑の季節

川柳



愛犬の介護でなった腰痛に

川柳を考へたら腹へった

川柳をしすぎて疲れ爆睡だ

スーツ着てすでに気分は社会人

スーツ着てがっかりしたよサイズにも